

スポーツ工学入門:「すべり」とスポーツの関係をしらべよう!

● 担当教員および連絡先

担当教員 山口 健 教授(TEL:022-795-6897, Email takeshi.yamaguchi.c8@tohoku.ac.jp)

西駿明 助教(TEL: 022-795-6897, Email toshiaki.nishi.b3@tohoku.ac.jp)

● 受入人数: 最大 2 名

● 実施期間: 第2セメスター, 曜日・講時は相談による

● 実施場所または初回集合場所: 10月 5日(木)16:30 機械系 1 号館 209号室

● テーマ概要

冬季オリンピック公式種目であるボブスレー, スケルトンなどでは氷面と刃(ランナー)の「すべり」の良し悪しが, 100分の1秒を争う勝負を決める鍵となる。一方, 陸上競技などに用いられるシューズでは, よりグリップ力のある(「すべりにくい」)靴底の設計が必要である。このように「すべり」は, スポーツと密接な関係があり, 勝負の行方を左右する重要な要素である。本研修では, 「すべり」が関係するスポーツ, スポーツ用具について調査や評価を行う。最終的には, 「すべり」のコントロールのための方法について検討する。



ランナーと氷面との「すべりやすさ」の違いが100分の1秒の差を生む氷上のF1「ボブスレー」競技。



長野オリンピック日本代表チームに採用された初の国産ランナー「ナガノ・スペシャル」